

科目	臨床看護技術演習 I				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	演習	授業時期	1 年
講師名	③渡邊知美 ③原田加代子 ③坪本秀美				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	臨地における援助技術の経験をもとに、援助技術の実際を振り返り、対象に応じた援助技術を提供するための援助技術を習得する。				
目標	基本原則に照らして援助技術を実施することができる。				
授業計画					
回	内容				
1～2	(事前学習および臨地での演習) 経管栄養法による流動食注入、経鼻胃チューブの挿入				
3～4	(事前学習および臨地での演習) 膀胱留置カテーテルの管理、導尿または膀胱留置カテーテルの挿入				
5～6	(事前学習および臨地での演習) 浣腸、排便				
7～8	(事前学習および臨地での演習) 体温調節の援助 包帯法				
9～10	(事前学習および臨地での演習) 酸素吸入療法の実施、ネブライザーを用いた気管内加湿				
11～12	(事前学習および臨地での演習) 口腔内吸引、気管内吸引、体位ドレナージ				
13～14	(事前学習および臨地での演習) 褥瘡予防ケア				
15	終講テスト				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 筆記試験 80%、小テスト 20%を総合して評価する。 60 点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ:医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第2版:医学書院				